

第108回 理事会（平成18年度第7回）議事録

財団法人 神奈川県スキー連盟

1. 日 時 : 平成18年11月13日(月) 19:00~21:00
2. 場 所 : 神奈川県社会福祉会館 2階第2会議室 (横浜市神奈川区沢渡4-2)
3. 出席理事 : (副会長) 野地 澄雄、山田 隆、八尾 勉
(専務理事) 片 忠夫
(常務理事) 三塚 康雄、菊地 富士夫
(理事) 徳本 進、川田 光代、吉野 大成、藤田 浩介、荻野 恭宏、金子 理人、木村 徳善、清水 忠、岡本 洋一、小池 光、森本 珠水、平沢 幸一、斎藤 幸雄、吉岡 去私、平賀 淳夫、百海 廷
欠席理事 : (会長) 河野 洋平
(常務理事) 上田 英之
(理事) 国島 みどり
4. 出席監事 : 木村 信吉、内海 雄三
5. 議長選出 : 片 忠夫専務理事を指名
6. 議事録署名人選出 : 百海 廷理事、吉岡 去私理事を選出
7. 書 記 : 古澤 誠司広報委員を指名
8. 議 事

開 会 八尾副会長から開会の挨拶を述べた。

1) 教育本部関係

(1) 報告事項

- ① 木村本部長より、下記行事(別紙配布資料参照)についての報告があり了承された。
 - イ) 第2回 正副委員長会議
期日: 10月11日(水) 19:00~ 社会福祉会館第3研修室
 - ロ) 指導員養成講習会(第1回)
期日: 10月28日(土) 9:00~17:00 かながわ労働プラザ
出席者: 準指導員111名、正指導員25名 スタッフ17名 計153名
 - ハ) 強化トレーニング
期日: 11月11日(土) 11:00~13:30
出席者: 10名
 - ニ) 安全対策委員長会議
期日: 11月11日(土) 国立代々木競技場会議室
出席者: 和田SAJパトロール技術員
 - ホ) 指導員養成講習会(第2回)
期日: 11月12日(日) 9:00~17:00 かながわ労働プラザ
出席者: 準指導員116名、正指導員27名 スタッフ15名 計158名
- ② 木村本部長より、県連行事でのユニホーム着用に関して報告があり了承された。(資料配布)
・ブロック技術員は、SAJユニホームを、SAK専門委員は、SAKユニホーム着用。
- ③ 木村本部長より以下の報告があり、了承された。
 - イ) 教育専門委員内の行事開催効率化を目的に、専用Webページを作成した。
 - ロ) 北海道委員会へ正副委員長の出席を要請し、打合せ実施した。
 - ハ) 行事のデジエントリー化説明実施。
 - ニ) 今後の行事予定
・指導員研修会(理論) 11月23日(木) SAJ市野委員長の講演予定

- ・南関東ブロック研修会 12月1日(金)～3日(日) 車山高原スキー場神奈川県主管
(同時に教育拡大会議開催予定)
 - ・パトロール研修会 12月1日(金)～3日(日) ピラタス蓼科スキーリゾート
 - ・スノーボード技術研修会 12月5日(火)～6日(水) 軽井沢プリンスホテル
 - ・来期の指導員研修会について、2007年11月11日(日)川崎教育文化会館を予約済
- ④ 木村本部長より、スキー大学の締め切りがオフィシャルブックで11月24日となっている。SAKツールも11月24日同一日で、申し込み不可となるため11月21日に変更する内容については、HP等で周知徹底させることで了承された。

(2) 審議事項

- ① 準指導員検定の単位制導入について
木村本部長より、準指導員検定の単位制導入について、経過期間を3年とする提案がなされ、承認された。
山田副会長(SAJ理事)より、指導員検定会についてSAJとしては3年で全員合格させたい。3年で合格しないのは筆記で合格しないのを除き、実技においては養成講習会にも問題ありと考えられる。講習履歴等も加味してほしいとの要望があった。
- ② 専門委員の旅費について
木村本部長より、専門委員7名(資料配布)の旅費について、前年同様実費精算とする提案がなされ、承認された。

2) 競技本部関係

(1) 報告事項

- ① 菊地本部長より、下記行事(別紙配布資料参照)に関する報告があり、了承された。
- イ) 南関東ブロック、コーチセミナーⅠ
期日:10月22日(土) 場所:神奈川県社会福祉会館
講師:テクニカル 岩谷高峰(岩谷スキーコンサルタント代表)
メンタル 橋口泰一(日本大学文理学部講師)
参加者:役員2名、受講者31名
- ロ) 南関東ブロック、競技技術・運営セミナーⅡ
期日:11月12日(日) 場所:神奈川県社会福祉会館
講師:中村実彦(SAJアルペン技術運営委員会副委員長)
出席者:役員3名、受講者52名(SAK 35名, SAT 15名, SAC 2名)
- ハ) 第1回競技本部拡大専門委員会
期日:11月12日(日) 場所:神奈川県社会福祉会館
議題:2006～7シーズンの徹底事項、伝達事項、その他確認事項
出席者:27名
- 二) 第61回国体の神奈川県総合成績について(別紙配布資料にて説明あり)
総括として、スキー競技が全体の足を引っ張っており努力したい。
- ホ) 第58回県総体競技大会の注意事項について(平賀理事より説明)
期日:11月12日(日) 場所:神奈川県社会福祉会館
議題:2006～7シーズンの徹底事項、伝達事項、その他確認事項

(2) 審議事項

- ① FIS公認2007第12回神奈川県スノーボード選手権大会の参加費について
菊地本部長より、FIS公認2007第12回神奈川県スノーボード選手権大会の参加費を他都道府県の主催するFISレースと同額(6000円→7000円)にする提案がなされ、承認された。この変更はHPで周知徹底を図る。
- ② 2006～7シーズンの指定選手について(別紙配布資料)
菊地本部長より、2006～7シーズンの指定選手について提案がなされ、承認された。
- ③ ノルディックの国体選考会について
菊地本部長より、ノルディックの国体選考会とインカレの日程が重なっており、救援策として1月2日ノルディック県選手権を第1次選考会、1月12日南関東ノルディック大会を第2次選考会と位置付ける提案がなされ、承認された。但し、大会前に周知徹底することが前提とのコメントがされた。

3) 総務本部関係

(1) 報告事項

- ① 慶弔関係について
 - ・特になし
- ② 資金運用状況について
 - 藤田理事より、10月末現預金残高の報告があり、SAJ登録が早まっており昨年同時期より13百万円ほど増えているとの説明があり、了承された。
- ③ 登録状況について
 - 荻野理事より、18年度の登録手続き状況では30クラブ程未登録が残っているがほぼ昨年並みとの説明があり、了承された。
- ④ 総務委員会
 - ・次の各理事から報告があり、了承された。
 - イ) 電子申込委員会(徳本事務局長)
 - 電子申し込みは11月10日公開開始したとの報告があり、了承された。
 - ロ) ウェア委員会(川田理事)
 - 案を策定中との報告があり、了承された。
 - ハ) 普及振興委員会(吉野理事)
 - 10日に横浜市および厚木市の小中学校約600校にジュニア行事のパンフを配布したとの報告があり、了承された。
 - ニ) 協賛会員拡大委員会(川田理事)
 - フジノン東芝ESシステム(鼻からの内視鏡を製作している会社)より10万円、札幌京王プラザホテルより10万円(前期/後期に分かれた場合は5万円となる。)の協賛があったと報告があり、了承された。
 - ホ) 個人情報保護委員会(徳本事務局長)
 - 事務所の各本部キャビネットの鍵を各本部で管理をお願いするとの要請があり、了承された。
 - ヘ) HC委員会(代、徳本事務局長)
 - 18日にセミナー実施 参加者 15名 講師2名
 - 理論研修会でHC委員会報告用に10分の時間を配分したいとの要請があり、了承された。
 - ト) 広報委員会(金子理事)
 - 今期の雪上行事の取材メンバーの報告があり、了承された。
 - チ) 規約規程委員会(徳本事務局長)
 - 11月27日に委員会を開催予定との報告があり、了承された。
 - リ) 北海道委員会(吉野理事)
 - 11月10日現在132名の参加申し込みがあり、了承された。
- ⑤ 受信・発信文書の台帳記入について
 - 徳本事務局長より、受信・発信文書の台帳記入を11月1日から開始しましたので、各本部での会長印使用時の発信文書台帳への記入お願いの要望があり、了承された。
- ⑥ 功労指導員及び名誉検定員のSAJ承認について
 - 徳本事務局長より、功労指導員・名誉検定員(16名)全員が承認された。案内を本人宛に発送するとの報告があり、了承された。
- ⑦ 事務所使用時のお願い
 - 徳本事務局長より、事務所を使用する場合には、事前連絡と白板への記入をお願いするとの要望があり、了承された。
- ⑧ 県体育功労者表彰候補者の書類提出について
 - 徳本事務局長より、県体育功労者表彰候補者「小島参与」の推薦書類を提出した。12月表彰者決定、1月表彰予定との報告があり、了承された。
- ⑨ 有資格者の研修会費返還要求について
 - 徳本事務局長より、財団法人化での有資格者の研修会費前納分の移籍による返還要請が、元厚木市協会所属の方より提出されている。事実関係を確認するため、厚木市協会経由で調査しているとの報告があり、了承された。
- ⑩ 大会保険のジュニア行事追加について
 - 川田理事より、大会保険にジュニア行事追加の報告があり、了承された。

⑪ 新規クラブ登録について

荻野理事より、新規クラブ登録として、横浜市協会の赤い彗星、愛川町協会のこまくさの2クラブから申請がきているとの報告があり、了承された。

(2) 審議事項

① 各事業役員出席について

徳本事務局長より、平成18年度の行事への役員出席（配布資料）の提案がなされ、副会長の参加行事の再見直しを行ない、配布することで承認された。

② 規約・規程の承認について

徳本事務局長より、「監査規程」、「文書取り扱い要領」についての提案がなされ、監査規程の年度計画日程の見直し文言を修正することで承認された。

③ ハンディキャップ専門委員の追加承認について

徳本事務局長より、横浜の「越前谷芳隆」氏を追加したい旨の提案がなされ、承認された。

④ 県スポーツ優秀選手表彰に係る候補者の推薦について

徳本事務局長より、県スポーツ優秀選手表彰候補者の推薦依頼が県体協からあり、SAKとしては該当者なしの提案がなされ、了承された。

⑤ 規約・規程委員会への諮問事項について（資料配布）

徳本事務局長より、11月27日開催予定の第1回規約・規程委員会への諮問事項として、i 役員選出規程の見直し、ii 評議員会開催規程の見直し内容についての説明&提案がなされ、承認された。県連側より山田副会長、片専務理事が出席することが確認された。

⑥ 有資格者の研修会免除願いについて

荻野理事より、研修会費用免除に関し13名の申請依頼がある旨の提案がなされ、そのなかで理由に「不景気のため」というのは理由に該当しないことから、本人宛てに文書で返答し、それ以外の申請は承認された。

4) その他

① SAJ報告について

山田SAJ理事より、「第63回国体の開催候補地が決まっていない。開催費用として7000万円掛かるため、名寄市が手を上げたが寒いので役員より却下された。日体協のトレーニングセンターづくりが進められており、スキー連盟は種目毎に認められて、例えばジャンプについては大倉山と八方が綱引きをしている。アルペン未定である。次に教育本部の研修テーマは特に目新しいものはないが、社会貢献として地球温暖化防止を皆でやってほしいとのこと。JOCもチームー6%に参加、行事参加時の車使用を極力控えるようなことをしていただきたい。」との報告があった。

② 県連理事としての規律ある行動の要望について

片専務理事より、飲酒運転、パワハラ、セクハラなどないように厳重に注意して行動していただきたいとの要望がなされた。

この議事録が正確であることを証明するため、議事録署名人、下記に署名する。

平成18年11月27日

議 長

印

議事録署名人

印

議事録署名人

印